

平成28年度

公立大学法人会津大学の業務実績に関する評価結果

平成29年8月

福島県公立大学法人評価委員会

公立大学法人会津大学の第2期中期目標期間（平成24～28年度）に係る業務の実績に関する評価結果（暫定評価）

第1 「全体評価」

会津大学(以下「四大」という。)は、建学の精神に掲げられた「to Advance Knowledge for Humanity (人類の平和と繁栄に貢献する発明と発見)」の実現を目指し、また会津大学短期大学部(以下「短大」という。)は、会津地域唯一の高等教育機関として長期にわたって社会に貢献できる有能な人材を輩出してきた伝統を踏まえ、コンピュータ理工学、産業情報学、食物栄養学、社会福祉学、幼児教育学の分野における人材の育成や研究等を通じて、学問や科学技術の進歩に寄与するとともに、産業・文化の振興に貢献することを使命としている。

第2期中期目標期間においては、四大は常に世界において先駆的な存在であることにより、我が国の将来と地域の発展に寄与することを、短大は深く専門の学芸を教授研究し、職業又は实际生活に必要な能力を育成し、もって地域社会の生活、文化及び産業の向上発展に寄与することをそれぞれ基本目標とし、また、東日本大震災等からの復興に貢献することを共通の目標としている。

この目標の達成に向け、理事長のリーダーシップの下、役員会、経営審議会、教育研究審議会等の各機関や教職員が相互に緊密な連携を図り、真摯に取り組んでいくことが認められる。

1 会津大学

コンピュータ理工学の分野において国内外で活躍できる優秀な研究者・技術者の養成を図るべく、学部と大学院との教育の連続性を高めるための4学期導入、ICTグローバルプログラム全英語コースの開設、米国シリコンバレーへの海外拠点の開設、中高一貫教育校との高大連携協定に基づく連携や各種公開講座の開催、高校生のプログラミング技術の向上などによってICT人材を育成することを目的とした「パソコン甲子園」の開催等を行ってきた。

また、研究分野では、会津大学復興支援センターの中核施設「先端ICTラボ」を核としたビッグデータの解析、クラウド基盤を活用した研究などを推し進め、ロボットのソフトウェア・ライブラリーの開設など、着実に成果を上げてきている。

さらに、「会津オープンイノベーション会議(AOI会議)」等を開催し、地域貢献等へ向けた独自の取組も行っている。

その他、就職活動支援の拡充、活発なFD活動、グローバル推進本部による海外大学との国際交流協定の締結及び当該締結校との具体的交流、国内外からの国際的に優れた教育研究者の採用等にも取り組んでおり、それらのことについて高く評価できる。

一方、大学院課程への進学率(中期目標)、情報処理技術者試験の受験率・資格取得率(中期計画)が目標値を下回っていることから、その向上が求められる。また、学生の定期健康診断受診率向上のため、更なる取組を期待したい。

2 会津短期大学部

専門分野(産業・経営、デザイン、情報、環境、栄養、食品、健康、福祉及び保育等)を生かし、より地域に密着した形で、専門的知識を有する職業人育成、地域

貢献などのため、少人数教育の実施、「地域プロジェクト演習」による地域課題解決への参画、授業評価の公表や教員への周知による授業改善、FD（faculty development:教員能力開発）の実施、オフィスアワーの活用によるきめ細かな学生への対応、生活に密着した専門分野を生かした研究、地域活性化センターを活用した県機関との連携による各種地域活性化事業への協力、教育研究活動等に関する積極的な広報、派遣講座の実施等に取り組んでおり、それらのことについて高く評価できる。

一方、英語検定試験の受験者は目標値を下回っていることから、より積極的な意識付けによりその向上が求められる。

今後について

前述のとおり、四大及び短大は、第2期中期目標期間におけるこれまでの取組において、一部に十分でないものがあるものの、当該中期目標を概ね達成していると認められる。

今後、県においては、当該評価を踏まえた次期中期目標を定めて公立大学法人会津大学（以下「法人」という。）に指示するとともに、法人においては、次期中期目標を達成するための中期計画を作成の上、当該計画に沿って、引き続き教育研究や地域貢献・東日本大震災からの復興支援等の業務を適正かつ効率的に運営されたい。

第2 「項目別評価」

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

(1) 教育に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

なお、大学院課程への進学率、情報処理技術者試験の受験率・資格取得率のさらなる向上が求められる。

【中期目標期間で評価できる取組み○(又は検討課題等△)】

(四大)

- 入学センター運営会議等で、受験生に対するアンケート調査の結果等を検証・分析し、より効果的な学生募集の広報計画の策定や大学案内のリニューアルを行うとともに、積極的な高校訪問等を実施した結果、一般入試の志願者数が増加した。
- 一般入試制度の一部を改正し、センター試験の5教科7科目を受験するタイプの一般入試を導入したほか、スーパーグローバル大学創成支援事業により新たにICTグローバルプログラム全英語コースを開設した。
- 大学院課程のカリキュラムを、学部の5フィールドからの連続性を意識させるよう教育研究領域を再編成するとともに、その定着化を図るため、各領域の到達目的に応じた履修経路を簡明化し、学部から博士前期

課程までの連続したカリキュラムの一覧を可能とした。

- 学部と大学院の連続性を高めるため学部の一部科目で4学期制度を導入し、学部・大学院のすべての学期で8週間ずつの授業を行った。
- 「課外プロジェクト」を充実させ、入学初年度から高度な研究分野に触れる機会を提供し、自主的に研究テーマの設定ができる能力の醸成を図った。
- 大学院課程において社会ニーズに沿った実践的なソフトウェア人材育成教育を進めるため、e n P i T(分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク)など他大学とのプロジェクトに参加するなど、積極的な活動を推進した。
- 1人の教員が受け入れる学生数を、従来の同一学年から5名だったものを、最大4名までに引き下げ、研究室におけるゼミ活動を、より少数の学生によるディスカッションが可能となるよう改善した。
- 留学生の生活相談や日本人学生の留学相談対応を積極的に行った。
- 留学生も参加する南会津町中小屋集落との交流に留学生も参加し、地域交流の推進のみならず、地域の国際交流にも貢献した。
- 学生の経済的負担を軽減するため、年間授業料免除を実施するとともに、東日本大震災被災者に係る授業料減免を実施した。
- 学生自身が、学業・就業力を総合的に把握できるサイバー就活支援システムの本格的な運用を開始するとともに、同システムに卒業生3名をメンターとして登録し、メンターが対話を通じて、学生の課題解決や悩みの解消を支援する体制を構築した。
- △ 「学部・博士前期課程5年一貫教育プログラム」と同プログラムに係る給付型の奨学金制度の活用を始めとして、大学院進学者の増加を図っているが、大学院課程への進学率が、中期目標の数値目標40%に対し、20~30%となっており、その向上が求められる。
- △ 情報処理試験対策講座を開講するとともに、支援策や誘引策を実施して、情報処理技術者試験の受験を奨励したが、受験率は中期計画の数値目標50%に対して30%前後、また学部生資格保持率は目標25%に対して10%未満となっており、目標を達成していない。これは当該資格の社会的な有用性が薄れてきている現れとみられることから、その資格保有率を成果指標とする扱いは、今後は見直すべきである。

(短大)

- 志願者増を図るため、高校訪問、進学説明会、オープンキャンパスの実施の他、LINE やテレビ・ラジオなどの各種広報媒体を活用して情報を県内外に発信し、広報活動の充実を図った。
- 栄養士養成施設協会主催の実力認定試験、フードスペシャリスト認定試験の対策講座やNR・サプリメントアドバイザー資格に対応した新カリキュラムを実施したほか、産業情報学科では、広報戦略論を開設し、グラフィック分野の常勤教員の拡充、食物栄養学科では、フードスペシャリスト資格認定試験及び栄養士実力認定試験に対する対策講座等を実施したことにより、栄養士免許資格、NR・サプリメントアドバイザー認定試験受験資格、保育士資格、社会福祉士受験資格の取得希望者取得

率は100%となった。

- キャリア支援センターの主導により、学生からの地理的・業種別のニーズに応え、インターンシップ受入先を拡充したほか、事前説明会において企業がインターネット上に独自に公募をかけている情報を学生に周知することにより、インターンシップ参加者が増加した。
 - 学内ネットワークシステムなどの更新により、各教室のプロジェクションシステムの問題に迅速に対応でき、多様なメディアを用いた教育を展開できるようになった。
 - 全科目で「学生による授業評価」を実施し、その結果を受けて担当教員は必要な改善案を作成し学生に回答するとともに、教授方法を工夫するなどの教員能力開発（FD）活動を通じて、教育の質の向上を図った。
 - 社会福祉学科で、保育士に加えて幼稚園教諭の免許も取得できる課程を新設する方針を決め、平成28年度に幼児教育学科を設置した。
 - パソコンを活用した資料提出やプレゼンテーション資料の作成等を課すことでネットワーク機器を活用する機会を増やすとともに、視聴覚教材として全学生が利用できるeラーニングを導入した。
 - 大学内のウェブサイトのキャリア支援センターのページを見直すことで、学生が必要とする進路活動に関する情報を今まで以上に活用しやすい環境を整えた。
- △ e-learning システムによる英語学習と英語検定試験の受験を奨励したが、受験者は数名から20名程度にとどまっており、その向上が求められる。

(共通)

- 就職活動に対する各種支援を四大（学部、大学院）、短大ともに行い、中期目標の数値目標（就職希望者の就職率）については、四大（大学院）、短大ではほぼ目標を達成し、四大（学部）も目標値には及ばなかったものの、例年高い数値となった。

四大（学部）（数値目標100%）

H24 実績 96.2%

H25 実績 93.8%

H26 実績 95.7%

H27 実績 96.0%

H28 実績 98.6%

四大（大学院）（数値目標100%）

H24 実績 100.0%

H25 実績 100.0%

H26 実績 100.0%

H27 実績 100.0%

H28 実績 100.0%

短大（数値目標100%）

H24 実績 97.1%

H25 実績 97.9%

H26 実績 99.2%

H27 実績 99.3%

H28 実績 99.3% (※平成29年6月時点)

(2) 研究に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

[中期目標期間で評価できる取組み○(又は検討課題等△)]

(四大)

- CAISTの「宇宙情報科学クラスター」では、平成26年打ち上げた小惑星探査機「はやぶさ2」等の提案チームに参画し、運用支援可視化ツール及びサーモカメラ校正ビューワの開発提供を行ったほか、月探査衛星「かぐや」のデータ配信・月GISツールの開発などを行った。
- 「環境情報科学クラスター」では、微小規模気象予報等による福島県や東北地方の気候の調査、アジア太平洋経済協力会議(APEC)気候センター及びコロンビア大学との季節予報についての共同研究、局所気象予測研究のためのパソコン/携帯端末用アプリケーション・低コスト環境センサ/ロガーの開発、雲解像モデルCRSSを用いた日射量予測研究、再生可能エネルギー(風力および太陽光発電)予測の研究、インドの夏季モンスーンの高解像度季節予測等を実施した。
- 生体情報学クラスターでは、福島県立医科大学と連携し、非拘束生体モニタや細胞力学についての研究を実施したほか、東北大学、福岡大学、東邦大学、アサヒ電子、東京大学医科学研究所、帝京大学など国内外の機関との共同研究を実施した。
- 福島県補助事業「ロボットバレー創出推進事業」の採択を受け新たに設立したロボット情報工学クラスターを中心に、浜通り地方のロボットメーカー等との共同研究・開発、先端ICTラボソフトウェアライブラリーの整備に取り組んだ。
- 平成24年に採択を受けた「地域イノベーション戦略支援プログラム」において、持続性循環社会を実現するスマートグリッド情報基盤の開発に取り組んだ。
- 「産学イノベーションセンター(UBIC)」において教員等からの知的財産に関する相談に対応するなど研究シーズの特許化を推進した。
- 会津大学ニューテクノロジーセミナーを連携協定締結金融機関との連携により開催し、会津大学教員が特許出願中の技術シーズについて県内企業等に対して実用化を展望した説明を行うとともに、「会津大学シーズ2014」の関係機関への配布や、ホームページでの情報発信など大学帰属特許の技術移転に向けた取組を行った。

(短大)

- 地域関連機関(産学民官)との協働・連携事業において、地域特性を踏まえたプロジェクトを推進し、また、平成27年度には「地域実践研究事業」を設け、大学が積極的に地域と係わる研究教育活動を推進した。
 - ① ふくしまのおいしい『食』で元気になろうプロジェクト
 - ② 福島県「大学生の力を活用した集落復興事業」
 - ③ あいづまちなかアートプロジェクト

- ④ グリーンツーリズム事業に対する支援
- ⑤ 食行動実態把握調査結果集計・分析業務

(3) 地域貢献に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

〔中期目標期間で評価できる取組み○(又は検討課題等△)〕

(四大)

- 各教員等が担当し、公開講座、教員派遣講座、出前講義を実施した。
 H 2 4 実施回数 公開講座 2 9 回、教員派遣講座 1 9 回、出前講義 2 3 回
 H 2 5 実施回数 公開講座 2 5 回、教員派遣講座 1 8 回、出前講義 2 2 回
 H 2 6 実施回数 公開講座 2 1 回、教員派遣講座 1 8 回、出前講義 2 6 回
 H 2 7 実施回数 公開講座 1 2 回、教員派遣講座 1 5 回、出前講義 3 5 回
 H 2 8 実施回数 公開講座 2 5 回、教員派遣講座 7 3 回、出前講義 3 7 回
- 県立会津学鳳高校(中高一貫教育校)との高大連携協定に基づき、大学教員等の高校への派遣を行うとともに、数学、英語の「スポット講義」、海外研修の事前学習指導を実施した。
- 県内高校におけるパソコン甲子園対策プログラミング講座や高校の情報教員向けのセミナーを開催したほか、「パソコン甲子園」を毎年実施することにより、高校生の技術向上、IT人材の育成に寄与した。
- スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)指定校である福島高校、磐城高校、会津高校、会津学鳳高校、米沢興譲館高校に教員の派遣等を行った。
- 会津大学発の認定ベンチャー企業については平成28年度末に目標の18社を達成した。
- 会津地域の企業連携組織「会津産業ネットワークフォーラム(ANF)」や「会津オープンイノベーション会議(AOI会議)」により、意見交換を行い、大学発ベンチャーと連携した取組を推進した。
- 企業等に研究シーズを紹介する技術説明会の開催や技術展示会への出展、さらに会津大学シーズ集を金融機関を含む民間企業や行政機関等に配布するなど、企業への技術移転を図る取組を行った。

(短大)

- 各教員等が担当し、公開講座、派遣講座を実施した。
 H 2 4 実施回数 公開講座 4 回、教員派遣講座 1 5 4 回
 H 2 5 実施回数 公開講座 4 回、教員派遣講座 1 5 0 回
 H 2 6 実施回数 公開講座 5 回、教員派遣講座 1 3 3 回
 H 2 7 実施回数 公開講座 4 回、教員派遣講座 1 7 4 回
 H 2 8 実施回数 公開講座 4 回、教員派遣講座 1 5 9 回
- 短大の図書館やグラウンド等を一般開放し、また、隣接する大熊中学校に対して授業や部活動等に体育館やグラウンドを開放するとともに、全生徒に短大の図書館利用証を発行するなど、教育環境の充実が図られるよう支援した。

(4) 国際交流に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅰ：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

【中期目標期間で評価できる取組み○(又は検討課題等△)】

(四大)

- 日本学生支援機構（JASSO）留学生交流支援制度（短期派遣・短期受入）プログラムを活用し、留学生の派遣・受入を実施した。
- ローズハルマン工科大学や大連東軟信息学院との間で短期・中期の派遣・受入を行うとともに、後者と平成27年度に留学生受入基盤確立のための2年（協定大学）+2年（会津大学）学部プログラムなどを構築した。
- 地域別のアドバイザー委員、窓口教員を中心として海外の大学等との交流を展開した。
- 平成26年度に集中英語科目「Global Experience Gateway」を立ち上げ、短期留学とその前後の授業を一連として単位化し、留学しやすい環境づくりを行った。

(短大)

- 平成26年度、タイの泰日工業大学とスカイプ交流を行い、また、産業情報学科デザイン情報コースでは、福島県費負担中南米国留学生（専門分野）引受事業においてブラジルから2名の留学生を受け入れた。
- ミラノ国立大学学生との交流及びヤングアメリカンズ in 大熊中学校への参加・協力を行った。

2 東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置

【評価】「Ⅱ：年度計画をおおむね実施できている」と認められる。

(1) 復興支援に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

【中期目標期間で評価できる取組み○(又は検討課題等△)】

(四大)

- 平成27年10月に復興支援センターの中核施設「先端ICTラボ（LICTiA）」が稼働し、ICTの活用による震災復興・地方創生に関する研究を推進したほか、県事業を活用し実践的手段を用いて地域の課題に取り組む人材の育成を行った。
- 会津地方の産学官連携による「会津ソフトウェア・リンケージ・ファーム協議会」において、「IT人材育成プログラム」や「スマートフォンアプリケーション講座」を実施し、会津地域を中心とした県内のICT産業の地域間競争力を高めるべくICT人材の育成に取り組んだ。
- 県内外のICT関連企業や地元ベンチャー企業との連携のもと、「エネルギーマネジメントシステム」や「スマートスーパーマーケット」等の先端的な研究に取り組んだ。

(短大)

- 復興支援プロジェクトとして、大熊町の仮設住宅集会所において学生ボランティアによる学習支援を行うとともに、会津地域に避難している小・中学校の生徒、親子等を対象にキッズカレッジを実施した。
- 食品の放射線量測定を実習に取り入れたり、卒業研究において復興課題の解決につながるテーマに取り組むなど、復興課題の解決に取り組める人材の育成に努めた。

(2) 復興支援のICT活用に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

【中期目標期間で評価できる取組み○(又は検討課題等△)】

(四大)

- 会津大学を中心に、県内外のICT産業界と連携した最先端の情報通信技術の研究とその事業化を図り、県内の産業振興を効果的に推進するための拠点「会津大学復興支援センター」を設立した。
- 福島県立医科大学等が行う県民健康管理調査に関するシステム開発やデータ管理におけるセキュリティ対策等について、ICT専門の大学である特徴を生かして技術的支援を行った。
- 経済産業省補助事業である「産学連携イノベーション促進事業」において、M2Mネットワーク、ビッグデータ解析、情報セキュリティ、エネルギーマネジメントシステムなどICTを活用した震災復興に関する産学連携による研究を実施した。
- 情報通信研究機構、NTTグループ企業、東北大学と共に「通信・放送の多様な情報メディア群を活用した災害情報配信」、「情報弱者等にも対応した災害情報コンテンツの自動生成」、「被災地域の災害対策本部等と被災現場間の通信の確保」などの災害情報の配信技術の研究開発に参画した。

(3) 復興支援の連携・協力に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

【中期目標期間で評価できる取組み○(又は検討課題等△)】

(四大)

- NTTデータ株式会社との共同による社会インフラ点検事業として、道路や橋りょうに設置したセンサーやカメラから得られる各種データを自動で分析するためのシステム開発に取り組んだ。
- 福島県立医科大学等が行う県民健康調査について、県民健康調査データベース専門委員会に参画し、システム開発や危機管理を想定したセキュリティ対策等について、IT専門大学の知見を活かした支援を行った。
- 産業技術総合研究所と連携、協力に関する協定を締結し、再生可能エネルギーに関する共同研究等を推進していくこととした。

(短大)

- 大学の競争的研究費（復興枠）を活用した復興支援研究において、会津地方振興局、南会津地方振興局、会津若松市などと連携事業を推進した。
- 大熊町教育委員会との教育連携に関する協定に基づき、会津大学とともに大熊町の小・中学生の教育を支援した。

3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

【中期目標期間で評価できる取組み○(又は検討課題等△)】

(四大)

- 教員と高度な専門的分野に関して共同研究等を行う者を客員研究員として招聘するとともに、教員としての定着が期待できる優秀な博士後期課程修了者を特別研究員として雇用する枠を確保等するなど、期限付雇用制度の効果的な運用を図った。
- 復興支援センターの運営やスーパーグローバル大学創成支援事業等を推進するため、専門的な知識経験を有する職員を特定プロジェクト支援者として雇用した。

(短大)

- 教授会等各種会議のメールによる実施や、学内ウェブポータルサイトを活用した情報共有化と日常業務のペーパーレス化を推進し、事務の効率化を図った。

(2) 財務内容の改善に業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

【中期目標期間で評価できる取組み○(又は検討課題等△)】

(四大)

- 資産の効率的な運用の観点から、大学施設の利用制度についてホームページで周知し、利用促進を図った。
- 外部の公募型資金募集情報の迅速な周知や案内、教員に対する申請書類作成のサポート等により外部資金申請に係る支援を推進した結果、公募型資金の申請数が目標数値(年間50件以上)を上回った。
- 年度初めに環境方針に基づく具体的な取組事項を示し、さらに四半期毎のエネルギー使用量を調査・分析した結果と重点推進項目の周知等により、省エネルギー・省資源の啓発を行った。
- 冷房等施設機器の常時監視により運用実態を把握し、きめ細かな運転操作や設定値の修正等により、使用電力量の節減を図った。

(短大)

- 福島議定書事業に参加し、省エネルギー・省資源を呼び掛けるとともに、図書館にグリーンカーテンを設置するなど、エアコン電力量の節減に努めた。
- 様々な公募型外部資金に関する情報を教員に随時提供したほか、科学研究費助成事業に係る説明会を開催し、研究申請に対する支援を行った。

(3) 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

【中期目標期間で評価できる取組み○(又は検討課題等△)】

(四大)

- 会津大学学術リポジトリの構築運用について、教授会等で学内周知し、平成26年7月から運用を開始、博士論文や文化研究センター研究年報データ収集を実施し、リポジトリシステムで学外へ情報発信した。

(短大)

- 「学生による授業評価」のアンケートを実施し、教員に授業評価等の結果を示し改善案等の回答を求めることで、授業形態、学習指導法、成績評価基準及び学習到達目標の見直しを促す取組を行った。
- 学生による授業評価の結果概要、教員の各種コンクール等の受賞や研究成果、学生の卒業研究及び卒業作品、派遣講座の実施状況等をホームページに掲載するなど、大学内の情報を多角的に広報した。

(4) その他業務運営に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

なお、学生の定期健康診断受診率向上のため、更なる取組を期待したい。

【中期目標期間で評価できる取組み○(又は検討課題等△)】

(四大)

- 「会津大学行動規範」を全教職員に年度当初に周知するとともに、新たに採用された教職員には行動規範に関する文書の個別配布や研修を実施するなどして、不正、不祥事防止に資する取組を適宜推進した。
- 「避難場所」(グラウンド及び体育館)、「ヘリポート」(グラウンド)の状況を随時点検し、維持管理を実施した。
- 先端ICTラボの整備にあたり、省エネ、省資源を目指して会津地方の寒冷な気候を利用した「外気冷却方式」を導入する設計を行い、特に電力の大量使用が予想されるデータセンタースペースの電力使用料の抑制を図った。
- 全学生、全教職員を対象に「緊急地震速報の学内一斉システム」を取り入れた消防防災訓練を毎年実施するとともに、「緊急地震速報受信時における対応マニュアル」のホームページへの掲載、対応マニュアル概要版の各講義室や執務室への掲示を行い、周知を図った。
- 最新の情報技術を踏まえ、大学運営の基盤となるICT環境のあり方

について調査や検討を行い、ICT環境を整備するために必要とされるコンピュータ・ネットワークシステムの更新やソフトウェアの整備を計画的に進めた。

△ 学生の定期健康診断の全員受診に向け、メールや会議等での積極的な啓発を行ったが、受診率は80%程度にとどまっており、更なる取組が求められる。

(短大)

- 教授会において、会津大学行動規範の遵守について周知し、服務規律の厳正な保持について、適宜注意喚起を行い、コンプライアンスの徹底を図った。
- 「避難場所」として、グラウンド整備や緑地除草、樹木の伐採、枝払い等の管理を適切に行った。
- 学内をほぼすべてカバーできる無線LAN設備を整備し、また外部メールシステムとしてGmail（企業が提供しているメールサービスシステム）を導入し運用するなど、学生の利便性を向上させる環境を構築した。

※1 オフィスアワー

教員が各研究室等において、学生の履修相談や授業に関する質問などに応じるために待機している特定の時間のこと

※2 デュアルディグリープログラム

提携大学で取得した単位の相互認定により2つの大学の学位を取得できる制度のこと

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価			
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項		
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	32	B	102	C	2	D	0	II		
		年度	A	38	B	94	C	2	D	0			
		中期	A	13	B	77	C	1	D	0			
			(会津大学) 概ね計画通り達成できる見込みである。										
		中期	A	19	B	25	C	1	D	0			
			(会津大学短期大学部) 概ね計画通り達成できる見込みである。										
		年度	A	21	B	68	C	1	D	0			
			(会津大学) 概ね計画通り実施し、一定の成果を上げた。										
		年度	A	17	B	26	C	1	D	0			
			(会津大学短期大学部) 概ね計画通り実施し、一定の成果を上げた。										
1	教育に関する目標を達成するための措置	中期	A	20	B	61	C	2	D	0	II		
		年度	A	25	B	56	C	2	D	0			
		中期	A	7	B	44	C	1	D	0			
			(会津大学) 概ね計画通り達成できる見込みである。										
		中期	A	13	B	17	C	1	D	0			
			(会津大学短期大学部) 概ね計画通り達成できる見込みである。										
		年度	A	13	B	38	C	1	D	0			
			(会津大学) 概ね計画通り実施し、一定の成果を上げた。										
		年度	A	12	B	18	C	1	D	0			
			(会津大学短期大学部) 概ね計画通り実施し、一定の成果を上げた。										
(1)	入学者受入方針及び入試制度に関する目標を達成するための措置	中期	A	4	B	3	C	0	D	0	II	【会津大学】 入学センター運営会議で、受験生からのアンケート結果等を検証・分析し、より効果的な学生募集広報計画の策定等を行い、また大学入試センター試験5教科7科目型の一般入試制度の改正、一般入試試験会場の増設、ICTグローバルプログラム全英語コース選抜の実施など入学選抜方法の見直しを行い、平成28年度、志願倍率が約6倍になったことは評価できる。 【短期大学部】 オープンキャンパスを従来の8月、10月に加えて、新たに6月にも開催、LINEの開設、教員による県外への高校訪問を積極的に行い、入学者確保に取り組んだことは評価できる。	
		年度	A	5	B	2	C	0	D	0			
		中期	A	2	B	2	C	0	D	0			
			(会津大学) 学士課程における入学者選抜方法の改善、志願者確保のための体系的な広報活動、大学院課程における留学生や進学者の確保などについて、概ね計画通り達成できる見込みである。										
		中期	A	2	B	1	C	0	D	0			
			(会津大学短期大学部) 新たに入試・広報センター（仮称）を設置し、入試業務と広報業務の総合的な推進が可能となることから、計画通り達成できる見込みである。										
		年度	A	3	B	1	C	0	D	0			
			(会津大学) 優れた学生確保に向けて、県内外の進学相談会、出前講義、高校訪問、Web広告及びオープンキャンパスなど、より効果的な広報活動を精力的に実施するなど、計画通り実施した。										
		年度	A	2	B	1	C	0	D	0			
			(会津大学短期大学部) 入学者受入れ方針を、オープンキャンパスにおいてキャンパスガイド、Webサイト等の応援支援ツールを通じて周知・公表するなど、計画どおり実施した。										

(2)	教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置	中期	A	7	B	29	C	2	D	0	II	【会津大学】 学部専門教育と大学院教育に連続性をもたせるため、学部を4学期制とし、全ての学期で8週間の授業を行ったことは評価できる。また、スーパーグローバル大学創成支援事業や日本学生支援機構 海外留学支援制度(協定派遣・受入)等を活用して派遣・受入学生の増を図ったことや、米国シリコンバレーにおける海外研修や、大学院新規科目「ICTグローバルベンチャー工房」において、シリコンバレーオフィスを活用した双方向授業の実施は評価できる。 【短期大学部】 資格試験対策として、対策講座や新カリキュラムを実施するなど、資格取得率の向上に取り組み、免許・資格取得希望者の取得率が100%を達成したことは評価できる。		
		年度	A	10	B	26	C	2	D	0				
		中期	A	1	B	25	C	1	D	0				
			(会津大学) 学士課程において、英語科目における先修条件の緩和や、短期留学科目の新設、スタディスキルセミナーの導入に係る検討を経て、専門科目の大幅な見直しや、平成28年度からの4学期制導入を決定した。また、大学院課程においては、学部の教育との更なる連続性を高めるため、学部の4学期制導入に先駆け、全ての学期で8週間の授業を行うことを決め、実施するなど、概ね計画通り達成できる見込みである。											
			A	6	B	4	C	1	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) カリキュラムの点検・評価を継続的に実施し、時代や社会のニーズに的確に対応した効果的・効率的なカリキュラムの編成を進めるなど、計画通り達成できる見込みである。											
A	6		B	20	C	1	D	0						
(会津大学) 平成30年度導入に向けた新カリキュラム具体案を全学で共有し、教員からの意見・コメントを募り検討を重ね、大学院と連結したフィールド(専門領域)制に即した案が概ね完成するなど、計画通り実施した。														
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	中期	A	4	B	7	C	0	D	0	II	【会津大学】 教育の質の向上のため、国際公募による教員募集の実施や、学生による授業評価を実施し、学生FD会議による、授業の評価と改善についての検討を継続して実施したことは評価できる。 【短期大学部】 教室環境を多様なメディアやモバイル機器に対応できるようにインストラクション環境、無線LAN環境を整備し、加えてクラウドを活用した教育の展開のために四大と短大間のWAN専用回線の帯域を100Mbpsから1Gbpsへと増強したことは評価できる。		
		年度	A	4	B	7	C	0	D	0				
		中期	A	1	B	4	C	0	D	0				
			(会津大学) 国際的視野による教員補充、教員の教育能力の更なる向上、学内のコンピュータ・ネットワークシステムの整備などについて、概ね計画通り達成できる見込みである。											
			A	3	B	3	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 教養基礎科目において各学科教員により11科目、非常勤講師による23科目を開講するなど、計画通り達成できる見込みである。											
A	1		B	4	C	0	D	0						
(会津大学) 国際公募による教員の採用、学生による授業評価の改善、学内計算機システムの整備など計画通り実施した。														
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	中期	A	5	B	22	C	0	D	0	II	【会津大学】 震災被災者を含め学生の経済的負担を軽減するため、年間授業料免除を実施したこと、また、留学生の生活相談など積極的に学生支援を行ったことは評価できる。 【短期大学部】 キャリア支援センター主導によるインターンシップ受入先の拡充や求人開拓を行ったことは評価できる。		
		年度	A	6	B	21	C	0	D	0				
		中期	A	3	B	13	C	0	D	0				
			(会津大学) メンター・就学支援員・後援会・創明寮等と連携した学生支援、TA・SAIによる就学支援、学生の経済的負担軽減、国際交流活動の推進、就職指導などについて、概ね計画通り達成できる見込みである。											
			A	2	B	9	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 学生の生活実態の把握、附属図書館の蔵書収容力の向上検討など、計画通り達成できる見込みである。											
A	3		B	13	C	0	D	0						
(会津大学) メンター制度の更なる充実、就学支援室開室時間の延長、留学生オリエンテーションや日本語教育の強化による留学生の生活支援、ベンチャー体験工房の充実などによる就職支援など計画通り実施した。														
(会津大学短期大学部) 各学科の学生相談員、教員、カウンセラー及び事務職員が、情報共有を密接に行い連携して学生の学業・生活全般のサポートを実施し諸問題の解決にあたる等、計画通り実施した。														

2	研究に関する目標を達成するための措置	中期	A	4	B	22	C	0	D	0	II	/		
		年度	A	2	B	23	C	0	D	0				
		中期	A	2	B	18	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画通り達成できる見込みである。											
			A	2	B	4	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 計画通り達成できる見込みである。											
			A	1	B	18	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。											
		年度	A	1	B	5	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。														
A	1		B	5	C	0	D	0						
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	中期	A	3	B	15	C	0	D	0	II	【会津大学】 「はやぶさ2」プロジェクトへの参画や浜通り地方のロボットメーカーと共同研究・開発、先端ICTロボットライブラリの整備などの取組を進め、復興に貢献していることは評価できる。 【短期大学部】 地域活性化センターにおいて、「地域実践研究事業」により、積極的な地域との連携、地域課題解決に向けた学生参画による実践的な教育環境を整えたことは評価できる。		
		年度	A	2	B	15	C	0	D	0				
		中期	A	2	B	14	C	0	D	0				
			(会津大学) 3部門における各種研究への取組、先端情報科学研究センター(CAIST)の5つのクラスターにおける研究活動、「地域イノベーション戦略支援プログラム」による再生可能エネルギー分野における研究などについて、概ね計画通り達成できる見込みである。											
			A	1	B	1	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 地域活性化センターにおいて「地域実践研究事業」を創設し、地域課題解決に向けた研究を行うなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	1	B	14	C	0	D	0				
			(会津大学) 3部門における各種研究への取組、先端情報科学研究センター宇宙情報科学クラスターでの宇宙プロジェクトへの参加、「地域イノベーション戦略支援プログラム」の事業最終年度における総括など計画通り実施した。											
		年度	A	1	B	1	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 基礎的研究の成果を、「研究紀要」、「研究シーズ集」にとりまとめ、また、幼児教育学科では学科の研究論文集「幼児教育研究」を発刊するなど、計画通り実施した。														
A	1		B	14	C	0	D	0						
(2)	研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	7	C	0	D	0	II	【会津大学】 産学イノベーションセンターを中心に、研究シーズと企業とのマッチング活動に取り組んだほか、研究シーズの特許化やシーズの紹介等、知的財産の運用について計画どおり実施できたことは評価できる。 【短期大学部】 復興支援プロジェクトを実施したほか、地域のニーズを的確に把握し、ニーズとシーズのマッチングを行う「地域実践研究事業」により教育研究活動を積極的に実施したことは評価できる。		
		年度	A	0	B	8	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	4	C	0	D	0				
			(会津大学) 先端情報科学研究センターにおける共同研究、研究シーズと企業ニーズとのマッチング、知的財産の効率的な運用、競争的研究費における復興支援枠の創設などについて、概ね計画通り達成できる見込みである。											
			A	1	B	3	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 会津大学と会津大学短期大学部の競争的研究費の統合を本格実施し、教員の多様な研究を推進するなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	4	C	0	D	0				
			(会津大学) 先端情報科学研究センターにおける積極的な外部資金の導入、研究シーズと企業ニーズとのマッチング、知的財産の効率的な管理・運用など計画通り実施した。											
		年度	A	0	B	4	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 受託事業における地域でのデザイン展開や、産学・実践教育を中心とした各種デザインコンペなどの知的財産の管理・運用のあり方について地域活性化センター運営委員会において検討するなど、計画通り実施した。														
A	0		B	4	C	0	D	0						

3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	中期	A	4	B	17	C	0	D	0	II	/			
		年度	A	7	B	13	C	0	D	0					
		中期	A	0	B	14	C	0	D	0					
			(会津大学) 計画通り達成できる見込みである。												
			A	4	B	3	C	0	D	0					
		年度	(会津大学短期大学部) 計画通り達成できる見込みである。												
			A	4	B	10	C	0	D	0					
			(会津大学) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。												
		年度	(会津大学短期大学部) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。												
A	3		B	3	C	0	D	0							
(会津大学短期大学部) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。															
(1)	地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	中期	A	3	B	14	C	0	D	0	II	/			
		年度	A	5	B	11	C	0	D	0					
		中期	A	0	B	11	C	0	D	0					
			(会津大学) 「会津大学地域貢献ポリシー」の策定及び運用、施設開放や出前講義などの地域貢献活動の実施、高大連携や大学間連携事業の推進などについて、概ね計画通り達成できる見込みである。												
			A	3	B	3	C	0	D	0					
		年度	(会津大学短期大学部) 地域貢献に関する基本方針に基づき、派遣講座・公開講座を実施したほか、「地域実践研究事業」で地域のニーズとシーズのマッチングに努め、積極的に地域と関わる研究教育活動を行うなど、計画通り達成できる見込みである。												
			A	3	B	8	C	0	D	0					
			(会津大学) 公開講座や教員派遣講座の実施、出前講義などの地域貢献活動、高大連携協定に基づく連携事業、課題解決型人材育成モデル事業による人材育成など計画通り実施した。												
		年度	(会津大学短期大学部) 前年と同様の体制で活性化センターとして主体的に地域貢献に資する取組みを行っていくため、「地域実践研究事業」の活用を促し、事業予算を確保し教員の積極的な地域研究に繋げるなど、計画通り実施した。												
A	2		B	3	C	0	D	0							
(会津大学短期大学部) 前年と同様の体制で活性化センターとして主体的に地域貢献に資する取組みを行っていくため、「地域実践研究事業」の活用を促し、事業予算を確保し教員の積極的な地域研究に繋げるなど、計画通り実施した。															
(2)	地域産業の振興に関する具体的方策	中期	A	1	B	3	C	0	D	0	II	/			
		年度	A	2	B	2	C	0	D	0					
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0					
			(会津大学) 地域産業への教員の知識・技術の提供、大学発ベンチャーとの各種連携、先端ICTラボ(LICTiA)のイノベーション創出の場としての提供などについて、概ね計画通り達成できる見込みである。												
			A	1	B	0	C	0	D	0					
		年度	(会津大学短期大学部) 地域関連機関との協働・連携事業を中心に、地域特性を踏まえたプロジェクト研究を推進するなど、計画通り達成できる見込みである。												
			A	1	B	2	C	0	D	0					
			(会津大学) 企業ニーズと研究シーズとのマッチング、大学発ベンチャーと連携した人材育成事業の推進など、計画通り実施した。												
		年度	(会津大学短期大学部) 地域関連機関との協働・連携事業を中心に、地域特性を踏まえたプロジェクト研究を推進するなど、計画通り実施した。												
A	1		B	0	C	0	D	0							
(会津大学短期大学部) 地域関連機関との協働・連携事業を中心に、地域特性を踏まえたプロジェクト研究を推進するなど、計画通り実施した。															

4	国際交流に関する目標を達成するための措置	中期	A	4	B	2	C	0	D	0	I	
		年度	A	4	B	2	C	0	D	0		
		中期	A	4	B	1	C	0	D	0		
			(会津大学) 計画通り達成できる見込みである。									
		年度	A	0	B	1	C	0	D	0		
			(会津大学短期大学部) 計画通り達成できる見込みである。									
年度	A	3	B	2	C	0	D	0				
	(会津大学) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。											
(1)	国際交流の推進に関する目標を達成するための措置	中期	A	4	B	2	C	0	D	0	I	
		年度	A	4	B	2	C	0	D	0		
		中期	A	4	B	1	C	0	D	0		
			(会津大学) 国際交流協定の締結や締結校との単位互換に基づく学生の派遣、受入などの具体的交流を引き続き行ったほか、短期留学とその前後の授業を英語科目「Global Experience Gateway」として単位化し、学生の留学を推進した。また、スーパーグローバル大学創生支援事業におけるシリコンバレー研修などの新規プログラムを実施するなど、計画通り達成できる見込みである。									
		年度	A	0	B	1	C	0	D	0		
			(会津大学短期大学部) ミラノ国立大との学生交流を行うなど、計画通り達成できる見込みである。									
年度	A	3	B	2	C	0	D	0				
	(会津大学) ICTグローバルプログラム全英語コースやグローバル3+2プログラムを新たに設置し、積極的に海外の協定大学の優秀な学生獲得を図る等、計画通り実施した。											
第2	東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	0	B	14	C	0	D	0	II	
		年度	A	1	B	13	C	0	D	0		
		中期	A	0	B	11	C	0	D	0		
			(会津大学) 計画通り達成できる見込みである。									
		年度	A	0	B	3	C	0	D	0		
			(会津大学短期大学部) 計画通り達成できる見込みである。									
年度	A	1	B	10	C	0	D	0				
	(会津大学) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。											
年度	A	0	B	3	C	0	D	0				
	(会津大学短期大学部) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。											

【会津大学】
グローバル推進本部を中心とした積極的な国際交流活動を展開した結果、69名の海外の大学や研究機関と協定を締結し、また、協定のみならず海外大学との共同研究室の設置やデュアルディグリープログラム、国際単位認定の覚書の締結をしている。さらに、短期留学とその前後に行う英語科目を単位化することで学生の留学を推進したことは評価できる。

【短期大学部】
タイの泰日工業大学やミラノ国立大学との交流、ヤングアメリカンズin大熊中学校への協力、また、福島県費負担中南米国留学生引受事業として、ブラジル人留学生を2名受け入れるなど国際交流の取組を推進したことは評価できる。

1	復興支援に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	9	C	0	D	0	II	/		
		年度	A	0	B	9	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	7	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	2	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	7	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。											
		年度	A	0	B	2	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。														
A	0		B	2	C	0	D	0						
(1)	本県復興を担うICT人材等の育成	中期	A	0	B	4	C	0	D	0	II	【会津大学】 会津地方の産学官連携による「会津ソフトウェア・リンケージ・ファーム協議会」や会津大学復興支援センターにおいて、地元企業で活躍できる実践的スキルを持ったICT人材の育成を行ったことは評価できる。 【短期大学部】 卒業研究ゼミや地域プロジェクト演習を通じて、復興課題に取り組める人材の育成を行ったことは評価できる。		
		年度	A	0	B	4	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0				
			(会津大学) 「会津大学IT起業家育成事業」を実施するなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 卒業研究ゼミ、地域プロジェクト演習を通じて復興課題の解決に取り組める人材の育成に努めるなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
			(会津大学) 県内IT企業の協力の下、ICT人材の確保、県内外に避難している県民の帰還・生活再建を支援するため、避難者とIT企業を結ぶ就労支援事業を行うなど、計画通り実施した。											
		年度	A	0	B	1	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 卒業研究ゼミ、地域プロジェクト演習を通じて復興課題の解決に取り組める人材の育成に努めるなど、計画通り実施した。														
A	0		B	1	C	0	D	0						
(2)	新たな社会づくりに向けた取組み	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	【会津大学】 浜通り地方等のロボットメーカー、情報通信関連企業との連携により、災害対応ロボットの共同研究・開発を行ったことは評価できる。 【短期大学部】 復興支援プロジェクトとして、仮設住宅集会所における学生ボランティアによる学習支援や、キッズカレッジを開講したことは評価できる。		
		年度	A	0	B	2	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	1	C	0	D	0				
			(会津大学) ロボットバレー創出推進事業において、浜通り地方等のロボットメーカー、情報通信関連企業との連携によりロボットの研究開発を行うなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 学習支援、キッズカレッジの開講など、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
			(会津大学) ロボットバレー創出推進事業において、浜通り地方等のロボットメーカー、情報通信関連企業との連携によりロボットの研究開発を行った。また、先端ICTラボに整備したソフトウェアライブラリーを公開するとともに、中級のソフトウェア講習会を開催するなど、計画通り実施した。											
		年度	A	0	B	1	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 学習支援、キッズカレッジの開講など、計画通り実施した。														
A	0		B	1	C	0	D	0						

(3)	会津大学復興支援センターの円滑な運営体制の構築に向けた取り組み	中期	A	0	B	3	C	0	D	0	II	【会津大学】 復興支援センターに専任の職員を配置させ、先端ICTラボを活用した事業を専任の職員を中心として運営し、人材育成などを行ったことは評価できる。		
		年度	A	0	B	3	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0				
			(会津大学) 復興支援センターに専任の教員を2名配置したほか、新規に人材育成事業を実施するなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	0	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) -											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
			(会津大学) 起業からの技術相談や意見交換を行う際に、必要に応じて会津大学発ベンチャー企業の参加を求めるなど各種連携に努め、28年度は343回のA O I 会議を開催するなど、計画通り実施した。											
		年度	A	0	B	0	C	0	D	0				
			(会津大学短期大学部) -											
A	0		B	3	C	0	D	0						
2	復興支援のICT活用に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	3	C	0	D	0	II			
		年度	A	0	B	3	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	0	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部)											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。											
		年度	A	0	B	0	C	0	D	0				
			(会津大学短期大学部)											
A	0		B	3	C	0	D	0						
(1)	健康調査等に対するICTの観点からの支援	中期	A	0	B	1	C	0	D	0	II	【会津大学】 福島県立医科大学が行う県民健康管理調査のセキュリティ対策等について、医科大学が主催する「県民健康調査データベース専門委員会」に参加し、IT専門大学の知見に基づく提言を行ったことは評価できる。		
		年度	A	0	B	1	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	1	C	0	D	0				
			(会津大学) 福島県立医科大学等が行う県民健康調査において、県民が安全安心に任せられるデータの管理を行うため、システム開発や危機管理を想定したセキュリティ対策等について助言するなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	0	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) -											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
			(会津大学) 福島県立医科大学等が行う県民健康調査において、県民が安全安心に任せられるデータの管理を行うため、システム開発や危機管理を想定したセキュリティ対策等について助言した。また、県主催の学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会に参画するなど、計画通り実施した。											
		年度	A	0	B	0	C	0	D	0				
			(会津大学短期大学部) -											
A	0		B	3	C	0	D	0						

(2)	新たな産業創出に向けた取組み	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	【会津大学】 競争的研究費に「復興枠」を設定し、学内研究者へ震災復興に対する意識啓発を行ったほか、産学イノベーション促進事業において、ICTを活用した震災復興に関する産学連携による研究を実施したことは評価できる。		
		年度	A	0	B	2	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0				
			(会津大学) 文部科学省補助事業「地域イノベーション戦略支援プログラム」として、スマートグリッド情報基盤の研究開発を行うなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	0	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) -											
A	0		B	2	C	0	D	0						
(会津大学) 平成28年8月の福島県総合防災訓練で内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム」の課題「レジエントな防災・減災機能の強化」の研究成果を披露するなど、計画通り実施した。														
3	復興支援の連携・協力に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	【会津大学】 平成27年11月、福島県警本部とサイバーセキュリティに関する覚書を締結し、「県民をサイバー犯罪被害から守るためのリーダー養成講座」を開催したほか、平成28年12月に郡山市や郡山テクノポリス推進機構とICT産業の振興等を目的とした包括連携協定を締結したことは評価できる。		
		年度	A	1	B	1	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	1	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 計画通り達成できる見込みである。											
A	1		B	0	C	0	D	0						
(会津大学) 概ね計画通り実施し、一定の成果を上げた。														
第3	管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	4	B	70	C	1	D	0	II			
		年度	A	6	B	67	C	1	D	0				
		中期	A	0	B	41	C	1	D	0				
			(会津大学) 概ね計画通り達成できる見込みである。											
			A	4	B	29	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 計画通り達成できる見込みである。											
A	0		B	41	C	1	D	0						
(会津大学) 概ね計画通り実施し、一定の成果を上げた。														
年度	(会津大学短期大学部) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。													
	A	6	B	26	C	0	D	0						
	(会津大学) 概ね計画通り実施し、一定の成果を上げた。													

1	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	18	C	0	D	0	II	/		
		年度	A	0	B	18	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	11	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	7	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	11	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。											
		年度	(会津大学短期大学部) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。											
A	0		B	7	C	0	D	0						
A	0		B	7	C	0	D	0						
(1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	12	C	0	D	0	II	【会津大学】 法人職員を計画的に採用したこと、また専門的な知識経験等を有する職員を特定プロジェクト支援者として雇用し、当該プロジェクトを推進したことは評価できる。 【短期大学部】 コンプライアンス研修を実施したほか、教員発注マニュアルの周知を徹底し、適正な会計事務等の執行に努めたことは評価できる。		
		年度	A	0	B	12	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	8	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画的に法人職員を採用したほか、職員の英語力向上を図るため職員英語クラスを実施するなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	4	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 教員発注等マニュアルの周知徹底を図るため、コンプライアンス研修を実施するなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	8	C	0	D	0				
			(会津大学) 専門的知識・経験を有する特定プロジェクト支援者の雇用、職員の英語力向上のための英語クラスの実施など、計画通り実施した。											
		年度	(会津大学短期大学部) 教員発注等マニュアルの周知を徹底するとともに、必要に応じ見直しを行い、研究費の執行等の効率化を図るなど、計画通り実施した。											
A	0		B	4	C	0	D	0						
A	0		B	4	C	0	D	0						
(2)	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	0	D	0	II	【会津大学】 会議のペーパーレス化に取り組み、iPadを活用した会議を実施したことは評価できる。 【短期大学部】 メールによる協議や学内Webポータルサイトの適切な運用により、情報共有化と日常業務のペーパーレス化を推進し、事務の効率化を図ったことは評価できる。		
		年度	A	0	B	6	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0				
			(会津大学) 事務の効率的・合理的な執行に向けた事務局幹部職員による定例会議の開催やアウトソーシングの検討、会議の整理統合やペーパーレス化、学務システムの整備などについて、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 教員発注等マニュアルの周知徹底を図るため、コンプライアンス研修を実施するなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
			(会津大学) 事務局幹部職員による定例会議の開催、部局長会議と教育研究審議会の合同開催による効率化、学務システムの円滑な運用のための不具合対応を含めた十分な動作検証など、計画通り実施した。											
		年度	(会津大学短期大学部) 教員発注等マニュアルの周知を徹底するとともに、必要に応じ見直しを行い、研究費の執行等の効率化を図るなど、計画通り実施した。											
A	0		B	3	C	0	D	0						
A	0		B	3	C	0	D	0						

2	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	中期	A	2	B	8	C	0	D	0	II		
		年度	A	1	B	9	C	0	D	0			
		中期	A	0	B	7	C	0	D	0			
			(会津大学) 概ね計画通り達成できる見込みである。										
			A	2	B	1	C	0	D	0			
		年度	(会津大学短期大学部) 一部計画を上回る実績を上げた。										
			A	0	B	7	C	0	D	0			
			(会津大学) 概ね計画通り実施し、一定の成果を上げた。										
		年度	(会津大学短期大学部) 一部計画を上回る実績を上げた。										
A	1		B	2	C	0	D	0					
(会津大学短期大学部) 一部計画を上回る実績を上げた。													
(1)	外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	6	C	0	D	0	II		
		年度	A	0	B	7	C	0	D	0			
		中期	A	0	B	5	C	0	D	0			
			(会津大学) 科学研究費補助金などの様々な公募型外部資金に関する情報を速やかにメールで通知するとともに、研究棟の専用掲示板により公募情報を案内した。また、各教員からの求めに応じて、書類作成等へのサポートなどの研究申請に対する支援を行い、計画を上回る公募型資金の申請を行った。計画通り達成できる見込みである。										
			A	1	B	1	C	0	D	0			
		年度	(会津大学短期大学部) 公募型外部資金に関する情報を随時、教員に情報提供したほか、科学研究費助成事業に係る説明会を開催するなど、申請に対する支援を行い積極的な応募を促すなど行った。計画どおり達成できる見込みである。										
			A	0	B	5	C	0	D	0			
			(会津大学) 外部資金の情報提供や書類作成のサポートを継続的に行うなど、計画通り実施した。										
		年度	(会津大学短期大学部) 公募型外部資金に関する情報を随時、教員に情報提供したほか、科学研究費助成事業に係る説明会を開催するなど、申請に対する支援を行い積極的な応募を促すなど行った。計画通り実施した。										
A	0		B	2	C	0	D	0					
(会津大学短期大学部) 公募型外部資金に関する情報を随時、教員に情報提供したほか、科学研究費助成事業に係る説明会を開催するなど、申請に対する支援を行い積極的な応募を促すなど行った。計画通り実施した。													
(2)	経費の抑制に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	2	C	0	D	0	II		
		年度	A	1	B	2	C	0	D	0			
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0			
			(会津大学) 空調の常時監視により運用実態を把握し、きめ細かな運転操作等を実施するなど節電に努めたほか、照明器具の交換時期にLEDに切り替えるなど実施した。計画通り達成できる見込みである。										
			A	1	B	0	C	0	D	0			
		年度	(会津大学短期大学部) 「節電ニュース」をメール配信したことや、節電状況をグラフ化して掲示するなど、節電意識が高まるよう「見える化」に取り組んだ。目標を上回って達成できる見込みである。										
			A	0	B	2	C	0	D	0			
			(会津大学) 経費節減効果の大きい物品の契約の実施、冷暖房設定温度の順守や部分消灯による使用電力量の節減、空調用冷却水ポンプのインバータ化やLED照明化による省コスト・省エネルギー化など計画通り実施した。										
		年度	(会津大学短期大学部) 節電行動計画を策定したほか、福島議定書事業に参加し、全学的に取り組んだ。節電意識が高まるよう「節電ニュース」の定期的なメール配信や節電状況グラフの掲示などを行った結果、目標を大きく上回る成果を上げた。										
A	1		B	0	C	0	D	0					
(会津大学短期大学部) 節電行動計画を策定したほか、福島議定書事業に参加し、全学的に取り組んだ。節電意識が高まるよう「節電ニュース」の定期的なメール配信や節電状況グラフの掲示などを行った結果、目標を大きく上回る成果を上げた。													
【会津大学】 大学ホームページを活用することで、大学施設の利用増加を図り、また、公募型外部資金の情報を速やかに教員に周知し、申請に係る支援を行ったことで毎年計画目標数50件を上回って申請を行ったことは評価できる。													
【短期大学部】 公募型外部資金に関する情報を随時、教員に情報提供したほか、科学研究費助成事業に係る説明会を開催するなど、申請に対する支援を行い積極的な応募を促し、毎年20件以上の申請を継続したことは評価できる。													
【会津大学】 環境方針に基づき、学内全体で省エネ対策に取り組むことにより、使用電力を削減し経費削減を図ったことは評価できる。													
【短期大学部】 節電行動計画の策定、福島議定書事業への参加のほか、節電意識が高まるよう「節電ニュース」の定期的なメール配信や節電状況グラフの掲示などを行ったことにより、平成23年度比の節電、CO2削減量を大幅に上回ったことは評価できる。													

3	自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	13	C	0	D	0	II	/		
		年度	A	2	B	12	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	7	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画通り達成できる見込みである。											
			A	1	B	6	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	7	C	0	D	0				
			(会津大学) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。											
		年度	A	2	B	5	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。														
A	0		B	7	C	0	D	0						
(1)	評価の充実に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	7	C	0	D	0	II	【会津大学・短期大学部】 学生を対象に授業評価のアンケートを実施し、教員に改善案等の回答を求め授業の改善を促したことは評価できる。		
		年度	A	1	B	7	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	4	C	0	D	0				
			(会津大学) 業務実績を取りまとめ、自己点検・評価を行ったほか、認証評価機関による評価実務の情報収集、認証評価機関による第三者評価などについて、計画通り達成できる見込みである。											
			A	1	B	3	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 学生による授業評価を行い、授業内容等について必要な改善を行うなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	4	C	0	D	0				
			(会津大学) 業務実績の取りまとめ及び自己点検・評価の実施、研究活動の把握及び成果報告、第三者認証評価の受審に向けた点検・評価報告書の作成など計画通り実施した。											
		年度	A	1	B	3	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 学生による授業評価を行い、授業内容等について必要な改善を行うなど、計画どおり実施した。														
A	0		B	6	C	0	D	0						
(2)	情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	0	D	0	II	【会津大学】 会津大学学術的リポジトリの構築運用について、平成26年7月から運用を開始し、博士論文や文化研究センター研究年報のデータ収集を実施し、リポジトリシステムで学外へ情報を発信しているほか、大学ホームページをスマートフォン対応とし、新たにフェイスブックの運用を開始するなど積極的な情報発信に努めていることは評価できる。 【短期大学部】 学生による授業評価の結果や派遣講座の実施状況をホームページに掲載しているほか、関係機関への派遣講座や研究シーズ集、研究紀要等を配布するなど大学情報を積極的に広報したことは評価できる。		
		年度	A	1	B	5	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0				
			(会津大学) 大学公式ウェブサイトについて、志願者増を目指し、スマートフォン等での閲覧にも対応させるなどのリニューアルを実施した。計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) ウェブサイトの内容を適時検証して充実に努めたほか、社会福祉学科では幼児教育学科の広報と学科の教育・研究の内容を地域に還元するための学科ホームページを立ち上げるなどした。計画どおり達成できる見込みである。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
			(会津大学) ホームページ担当者研修会の実施、ホームページの効果測定・分析・改修、公式SNSによる効果的な情報発信など計画通り実施した。											
		年度	A	1	B	2	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 「研究シーズ集」「派遣講座講師紹介・講座リスト」を更新し、関係機関団体等に配布するとともに、地域活性化センターの「事業活動報告書」も含め上記のすべてをWeb上に掲載するなど、計画通り実施した。														
A	0		B	3	C	0	D	0						

4	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	中期	A	1	B	31	C	1	D	0	II	/		
		年度	A	3	B	28	C	1	D	0				
		中期	A	0	B	16	C	1	D	0				
			(会津大学) 概ね計画通り達成できる見込みである。											
			A	1	B	15	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	16	C	1	D	0				
			(会津大学) 概ね計画通り実施し、一定の成果を上げた。											
		年度	A	3	B	12	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 計画通り実施し、一定の成果を上げた。														
A	0		B	16	C	1	D	0						
(1)	法令遵守に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	【会津大学】 行動規範や不正・不祥事防止の周知、利益相反委員会や研究倫理委員会の開催などを通じて、コンプライアンスの徹底を図ったことは評価できる。 【短期大学部】 教授会等の場を活用し、コンプライアンスの徹底を図り、適宜不正対策の情報を提供したほか、科研費の適正な執行確保のために、説明会を行ったことは評価できる。		
		年度	A	0	B	2	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	1	C	0	D	0				
			(会津大学) 行動規範に関する周知徹底や内部監査を行ったほか、学内教職員を対象とした研究倫理・コンプライアンス研修会等を実施した。概ね計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 行動規範に関する周知徹底や内部監査等を実施した。計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
			(会津大学) 行動規範の遵守について説明し、徹底を図った。また、科研費助成事業説明会を開催し、研究活動に係る不正防止と研究費の適正な執行について意識向上を図るなど、計画通り実施した。											
		年度	A	0	B	1	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 行動規範に関する周知徹底や内部監査を行うなど、計画どおり実施した。														
A	0		B	1	C	0	D	0						
(2)	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	12	C	0	D	0	II	【会津大学】 先端ICTラボの整備にあたり、「外気冷却方式」を導入する設計を行い、省資源・省電力対策を進めたほか、保守管理業者の点検に合わせて劣化状況を調査し、施設設備の維持管理に努めたことは評価できる。 【短期大学部】 教育備品の更新計画に沿って更新を実施したほか、保守管理業者の点検に合わせて劣化状況の調査を行い、施設設備の維持管理に努めたことは評価できる。		
		年度	A	2	B	10	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	7	C	0	D	0				
			(会津大学) 施設・設備の点検、修理、更新を行うなど、計画どおり実施しており、計画通り達成できる見込みである。											
			A	1	B	5	C	0	D	0				
		年度	(会津大学短期大学部) 施設長期保全計画に基づき、変圧器の更新工事を行うなど、計画通り達成できる見込みである。											
			A	0	B	7	C	0	D	0				
			(会津大学) 吸収式冷凍機改修工事や講義棟屋上防水改修工事などの経年に伴う施設の改修などへの取り組みなど、計画通り実施した。											
		年度	A	2	B	3	C	0	D	0				
(会津大学短期大学部) 長期保全計画に基づき自動火災報知機設備や木工室外壁等改修を実施するなど、劣化が進む施設の改修を行う等、計画どおり実施した。														
A	0		B	7	C	0	D	0						

(3)	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	11	C	1	D	0	II 【会津大学】 全学生、全教職員を対象に「緊急地震速報の学内一斉システム」を取り入れた消防防災訓練を実施するとともに、「緊急地震速報受信時における対応マニュアル」のホームページへの掲載、対応マニュアル概要版の各講義室や執務室への掲示を行い、学内周知を図ったこと、また、健診実施日をメール等で周知すると共に、健診予備日を設定して受診機会を拡大し、教職員及び学生の定期健康診断受診率向上に努めたことは評価できる。 【短期大学部】 定期健康診断の呼びかけを行い、教職員、学生の高い受診率を保っていること、また、学生相談員とカウンセラーの配置による、学生への早期個別指導や教員との連携体制を継続して行ったことは評価できる。	
		年度	A	1	B	10	C	1	D	0		
		中期	A	0	B	5	C	1	D	0		
			(会津大学) 健康診断の受診の呼び掛けのほか、消防防災訓練やAED講習会を実施した。概ね計画通り達成できる見込みである。									
			A	0	B	6	C	0	D	0		
		年度	(会津大学短期大学部) 健康診断の受診の呼び掛けを行ったほか、消防防災訓練を実施した。計画通り達成できる見込みである。									
			A	0	B	5	C	1	D	0		
			(会津大学) 全員受診に向け、健診実施日や予備日について、メールや会議等で受診の呼びかけを行うなど積極的な啓発を実施。計画通り実施した。									
		(4)	情報通信基盤の整備・活用に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	0		D
年度	A			0	B	6	C	0	D	0		
中期	A			0	B	3	C	0	D	0		
	(会津大学) 最新の情報技術を踏まえてコンピュータネットワークシステムの更新やソフトウェアの整備を進めるなど実施した。計画通り達成できる見込みである。											
	A			0	B	3	C	0	D	0		
年度	(会津大学短期大学部) 幼児教育学科の新設に伴う入試体制と学務システムを整備などを実施。計画どおり達成できる見込みである。											
	A			0	B	3	C	0	D	0		
	(会津大学) 平成29年3月にコンピュータシステム1の更新を実施、ソフトウェア環境についても新しいコンピュータシステム環境への適応性を進めるなど、計画通り実施した。											
年度	A			0	B	3	C	0	D	0		
	(会津大学短期大学部) 次世代のICT活用教育に向けて、学務システムや無線システムに関する情報収集を行うとともに、次期システム検討委員会において演習室にPCを常設する代わりに、全学生にPCを貸与するスタイルのICT環境実現の可能性について検討するなど、計画通り実施した。											